



特定社会保険労務士 重村 勝弘

重村行政労務管理事務所

ご連絡先：〒235-0021

：横浜市磯子区岡村 7-8-15-102

電話・FAX：045-754-3412 携帯：070-5542-1466

E-mail：shigemura.office@etude.ocn.ne.jp

●高市総理「多くの成果を得ることが出来た」

日米首脳会談の成果強調

高市総理は、アメリカのトランプ大統領との首脳会談を振り返り、「多くの成果を得ることが出来た」と強調した。



高市総理「幅広い分野での率直な議論を通じて大きな成果を上げることができました。今後、トランプ大統領との間で日米同盟を更なる高みに引き上げていくことができると確信をいたしました」高市総理は対面では初めてとなるトランプ大統領との会談で、「同盟の抑止力、対処力を一層強化することなどで一致した」などと、成果を強調した。その上で、トランプ大統領には「日本として主体的に防衛力の抜本的強化および防衛費の増額に引き続き取り組んでいく決意を伝えた」と明らかにした。高市総理は首脳会談の後、トランプ大統領と日米関税交渉をめぐり、80兆円規模の投資に関する署名を行ったほか、大統領専用ヘリ＝マリーン・ワンに同乗し、アメリカ海軍・横須賀基地を訪れ、在日アメリカ軍を前に「防衛力を抜本的に強化し、地域の平和と安定にいつそう積極的に貢献する」などと訴えた。

就任早々の高市総理にとっての最初の対米交渉は、大成功といえるだろう。

●トランプ大統領、高市首相を評価 日本訪問「素晴らしかった」

トランプ米大統領は29日、東京で28日に初会談した高市早苗首相について「とても鋭く、賢く、活気にあふれていた」と高く評価し、偉大な首相になるだろうと述べた。日本訪問も「素晴らしかった」と振り返った。日本から韓国へ向かう大統領専用機内で記者団の取材に答えた。

また、緊密な関係だった故安倍晋三元首相が使っていたゴルフクラブのパターを高市氏からプレゼントされたと、満足そうに話した。

●日中首脳会談、「互惠」推進で一致

高市早苗首相は31日、訪問先の韓国・慶州で、中国の習近平(シーチンピン)国家主席と初めて会談した。両首脳は、両国の共通利益のために協力する「戦略的互惠関係」を包括的に推進し、「建設的かつ安定的な関係」を構築することを確認しが

- ・戦略的互惠関係の推進
- ・台湾海峡の平和と安定の重要性
- ・拘束されている在留邦人の釈放
- ・日本産水産物の輸入全面再開
- ・東・南シナ海の中国の行動の抑制
- ・レアアース輸出規制



などに懸念を示した。両首脳の活躍が期待される。

●日韓首脳会談が友好的に開催された

韓国で30日に行われた高市首相と李在明大統領の初めての会談で、李大統領からは韓国のりと化粧品が、高市首相からは基石が贈られ、友好ムードが演出された。



韓国大統領府によると、李在明(イ・ジェミョン)大統領は、高市首相が10月21日の就任記者会見で日韓関係を巡る質問を受けた際の「韓国のりが好きで、コスメも使っている」という発言を踏まえ、化粧品と韓国のりをプレゼントした。

また、高市首相からは、囲碁が趣味の李在明大統領へ、神奈川・鎌倉市で製作された基石が贈られ、両首脳の趣味や好みに合わせたプレゼントで友好ムードが演出された。

また、30日の会談で両首脳は互いの国を交互に行き来する「シャトル外交」を土台として協力を発展させていくことで一致し、李在明大統領は次回の訪日で地方都市での会談を希望した。

中国の脅威が増大する中で、日本と韓国な連携と、米国を巻き込んだ極東地区の安定を維持することが重要である。

●米中首脳会談の評価は？

一まずはアメリカ側から。

トランプ大統領は今回の会談を「10 点満点中 12 点」「大成功だ」と自画自賛したが、アメリカメディアは「中国の勝利」「中国がアメリカから譲歩を引き出した」などと伝えている。自動車の生産に影響が出ていたレアアースの輸出規制の緩和やトランプ氏の支持基盤である農家から強い要望が出ていた大豆の輸入再開。社会問題とな



っている合成麻薬フェンタニルの対策強化。これらは国内向けにアピールするため何としても合意したかった内容であった。裏をかえすとトランプ氏はこれらに同意すれば関税の引き下げにのってくと中国に見透かされていた。トランプ氏は「大成功」とアピールしているが、実際は、レアアースの輸出規制の延期も大豆の輸入再開も元の状態に戻すだけで関税の引き下げに応じたことになる。今回の合意でレアアースと大豆が交渉カードとしてアメリカに効くことが立証された。レアアースの輸出規制も 1 年延期しただけにすぎず撤回はしていない。緊張緩和を演出したものの対立点を残したまま先送りしたにすぎず米中の神経戦は続くことになる。

◇ ——続いては、中国側。中国メディアは、まだ論評など報じていないが、ある北京の外交関係者は、「今回の首脳会談は中国の完勝だった。レアアースという切り札を一発お見舞いしただけで、フェンタニル関税まで下げさせた」と指摘した。レアアースの輸出規制については、結局、1 年間停止しただけで、中国としてはまだまだ使えるカードとして残っている。さらに今回、アメリカ産の大豆についても中国が購入することを約束したが、これも中国にとっては今後の交渉の新たなカードを手に入れたともいえる。30 日の会談で印象的だったのは習近平主席が、ガザの停戦合意などにトランプ大統領が貢献したと具体例を挙げて称賛した場面である。ある中国政府関係者は、「あえてトランプ氏を高く評価してみせることで、中国側の余裕を見せる発言だったのだろう」と狙いを語った。別の中国共産党関係者も、「今回の米中首脳会談にあたって、習主席は自信を持って臨んだ。トランプ氏のやり方は、もう熟知しているし、一つ一つの発言に慌てて

右往左往することもない」と指摘した。ただ、中国も足元では経済の低迷が続く中で、今回の会談では、問題を先送りしただけ。貿易摩擦がいつ再燃するか分からない不透明感が残ったままである。

●トランプ氏、韓国の原子力潜水艦建造を承認… 「フィラデルフィアの造船所で建造」と投稿

韓国訪問中のトランプ米大統領は30日、自身のSNSへの投稿で、韓国が原子力潜水艦を建造することを承認したと明らかにした。核兵器ではなく通常兵器を備えた原潜になる見通しで、米韓両政府は米国内での建造に向けた協議を本格化させる。トランプ氏は別の投稿で、韓国の原潜が米ペンシルベニア州フィラデルフィアで建造されるとの見通しを示した。



韓国は現在、原潜を保有しておらず、29日の米韓首脳会談で韓国の李在明(イジェミョン)大統領が原潜開発への支援を要請していた。

トランプ氏は投稿で「我々の軍事同盟はかつてないほど強力で、今回ディーゼル潜水艦ではなく、原子力潜水艦を建造することを承認した」と表明した。別の投稿では、「韓国は自分たちの原潜をフィラデルフィアの造船所で建造するだろう」とし、「我が国に『古き良きアメリカの造船業』が間もなく大きな復活を果たす」とアピールした。

トランプ氏は、29日の李氏との首脳会談で両国の関税交渉が妥結したことを踏まえ、「韓国は米国に3500億ドル(約53兆円)を支払うことに合意した」と強調し、米国産の石油や天然ガスを「大量に購入することに同意した」とも指摘。韓国による対米投資額は6000億ドル(約91兆円)を超えており、韓国の原潜建造の承認は、対米投資などの見返りとの見方も出ている。

韓国の原潜保有を巡っては、29日の首脳会談で李氏が韓国の核燃料の再処理などを容認するよう求めた。現在、米韓原子力協定は韓国にウラン濃縮や原子力発電所の使用済み核燃料の再処理を禁じているが、今後、両国は同協定の改定作業の検討に入るとみられる。

今回の韓国の原子力潜水艦の保有は日本の原潜保有にとっても大きな影響を及ぼすだろう。